

今立郡清水頭村

毫撰寺召仕下女

奇特者

野江

巳四十二歳

右之者丹生郡持明寺村百姓権兵衛与申者之
姉にて、毫撰寺に乳持奉公いたし候、右毫撰寺
ハ一向宗讚門徒之一本寺に御座候、文化五年
戊辰十一月十七日朝氷強く候二付、六歳と四歳之
両女子を伴ひ寺内庭雪の上を遊はせ居候処、

(次頁へ続ク)

裏之方より大成手負野猪駈来候二付、野江儀
両女子を抱き走り入んと致候処、火急に後より
飛懸り俄之儀二而致方無之、両女子を擲除、
普通之女とハ力量も有之候哉、野猪と組合候内
所々疵を蒙り候故、汝我を殺すとも姫へかゝるなど
申、野猪之首を強く押へ揉合候内、野猪ハ振離
申女子を目懸候処、姉女ハ内へ走り入、妹女は
野江早速抱き上走り入申候、其内大勢寄集
追払ひ五分一村藪之中二而野猪を突伏せ申候、
野江儀ハ左右手足都合六ヶ所被懸深疵負
申候、右始末神妙之働二付、同六年己巳二月
褒詞、